

第106期 株主通信

2023年4月1日～2024年3月31日



食・買・遊を楽しめる体験型複合施設

「くらすわの森」が
2024年秋
グランドオープン!

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、代表取締役社長COOに就任いたしました田中英雄でございます。株主の皆様におかれましては、これまでと変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ここに、養命酒製造株式会社の第106期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の営業の概況をご報告いたします。

2024年6月

代表取締役社長COO
田中 英雄



第106期の業績の概要

当事業年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関する行動規制の緩和と社会経済活動の正常化が進んだこと等により、景気は緩やかに回復しているものの、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスク、エネルギー・原材料価格等の高騰や物価の上昇等懸念材料は多く、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社は2023年6月20日に会社創立100周年を迎え、経営理念「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」の下、事業ビジョン「すこやかでより良い時間を願う人々を応援する」に基づき、中期経営計画(2022年4月～2027年3月)において、「次の100年に向けた成長投資と持続的成長基盤の確立」を基本戦略と定め、「養命酒」及び酒類・食品の卸売販売を中心とする既存事業の収益力強化(深化)と、これまで取り組んできた「くらすわ」ブランドを中心とした新たな事業基盤の構築(探索)を同時に行う「両利きの経営」を推進し、収益性を確保しつつ成長投資を行い、

新たな企業価値の創造に取り組んでまいりました。

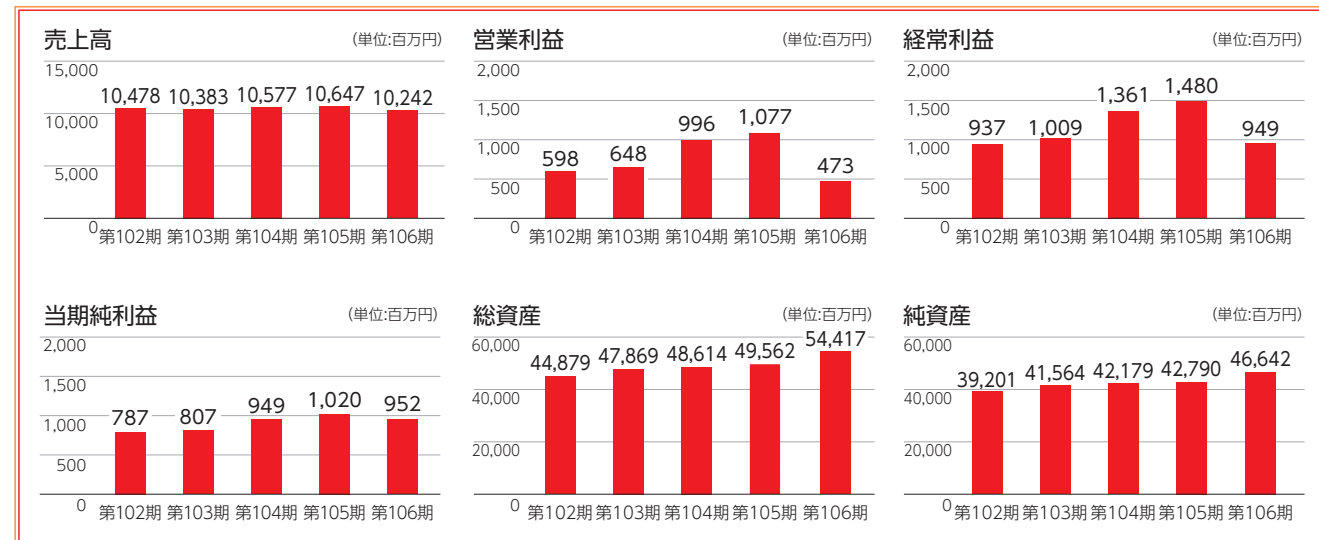
当事業年度の業績は、売上高はくらすわ関連事業が伸長したものの、国内「養命酒」が前年を下回ったことにより10,242百万円(前年同期比3.8%減)、営業利益は原材料価格高騰、くらすわ関連事業に係る先行投資、本店ビル更新工事等もあり473百万円(前年同期比56.0%減)、経常利益は949百万円(前年同期比35.9%減)、当期純利益は関係会社株式売却益450百万円を計上し、952百万円(前年同期比6.6%減)となりました。

第107期の見通し

今後の見通しといたしましては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかな景気回復が続くことが期待されるものの、海外景気の下振れが景気下押しリスクとなっているほか、物価上昇、中東地域の情勢、金融資本市場の変動の影響等から、先行き不透明な状況が続くものと見込まれます。

このような経営環境の中、当社は中期経営計画(2022年4月～2027年3月)の3年目として、養命酒関連事業につきましては、国内「養命酒」における広告活動の改善及び配荷促進、酒類・食品における重点商品の販売促進、新商品発売と価格見直し、海外における台湾新商品の販売促進等に注力し、中期経営計画達成への道筋をつけるため、国内「養命酒」の売上回復、酒類・食品の商品開発強化と海外の事業再構築に取り組んでまいります。くらすわ関連事業につきましては、2024年秋開業予定の体験型施設「くらすわの森」の準備を進めるほか、商品の拡充、新店舗の出店、通販・外販(他社チャネル販売)の新たな販路の開拓など事業基盤の構築と拡大に注力し、ブランドコンセプト「広げる、すこやかなくらしの輪」の下、商品・サービスを通じて生活者の皆様の豊かな健康生活に貢献できるよう取り組んでまいります。

第107期の業績予想に関しましては、売上高11,320百万円(前年同期比10.5%増)、「くらすわの森」グランドオープンに伴う初期コストをはじめとしたくらすわ関連事業の先行投資等により営業利益350百万円(前年同期比26.1%減)、経常利益770百万円(前年同期比18.9%減)、当期純利益660百万円(前年同期比30.7%減)を見込んでおります。



セグメント別の状況

養命酒関連事業



テレビCM

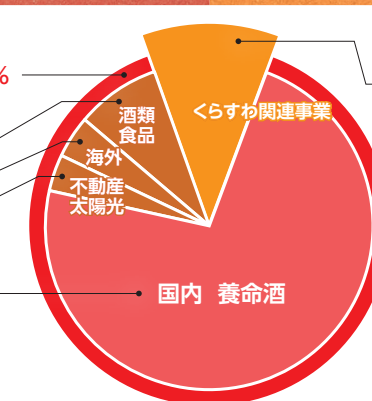
国内「養命酒」については、テレビCMや新聞等の広告を実施したほか、卸店やドラッグストア等主要販売チャネルである小売店と協働して陳列強化等を行い売り場づくりに取り組んだものの、物価上昇や健康意識の変化による消費行動への影響等の要因により、売上高は7,458百万円(前年同期比6.6%減)となりました。酒類・食品については、「フルーツとハーブのお酒」の売上が前年を下回ったこと等により、853百万円(前年同期比4.5%減)となりました。海外(海外「養命酒」を含む国外販売)については、431百万円(前年同期比3.3%減)となり、不動産賃貸・太陽光発電については、378百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

以上により、養命酒関連事業の売上高は9,121百万円(前年同期比5.9%減)となりました。



養命酒関連事業 89.1%
売上高9,121百万円

酒類・食品 853百万円
海外 431百万円
不動産賃貸・太陽光発電 378百万円



くらすわ関連事業 10.9%
売上高1,120百万円



くらすわロゴマーク

店舗は、来客数が回復していることにより堅調に推移しました。通信販売は、「幸健生彩DX」、「五養粥」が売上に寄与しました。外販(他社チャネル販売)は、郵便局等でのギフト販売が好調に推移しました。また、漢方製剤、健康サポートフーズ・グッズ等を展開する通信販売専用ブランド「まいにち養生365(まいにちようじょうさんろくご)」及び産直・お取り寄せECサービス「くらすわマルシェ」を開始しました。

以上により、くらすわ関連事業の売上高は1,120百万円(前年同期比17.4%増)となりました。

駒ヶ根工場敷地内の体験型施設「くらすわの森」は、2024年秋のグランドオープンに向け、順調に建設を進めております。



Topics トピックス



Topics 2 草刈正雄さん出演新CM放送開始

草刈正雄さん出演のTVCM新作、「家庭菜園」篇を5月17日より放送開始しています。
新キャストとしてフリーアナウンサーの武田真一さんが出演。元気で若々しい草刈さんの姿を見て、自分も健康のために養命酒を始める、新たな飲用者の役を演じられています。



くらすわの森の情報は
こちらから
ご覧いただけます。



Topics 1

クラフトジン「香の雫」 World Gin Awards 2024で 国別最高賞を獲得

クラフトジン「香の雫（かのしずく）」が、ジンの本場イギリスで開催された世界最大級のジン品評会「World Gin Awards 2024」の「コンテンポラリースタイルジン部門」で金賞を獲得。エントリーした日本産ジンの中の国別最高賞であるCountry Winnerを受賞し、日本一に選ばれました。



Topics 3

「くらすわの森」 グランドオープンに向け順調に建設中

長野県駒ヶ根市の当社工場敷地内に、体験型複合施設「くらすわの森」の建設を進めております。「くらすわの森」は、レストランやハム・ソーセージ工房、マルシェ、お菓子工房、ベーカリー、カフェ、ショップなどが集い、おいしい体験、たのしい体験、すこやかな体験を通して“すこやかさ”を提供する施設です。
グランドオープンは、2024年秋頃を予定しております。

新容量発売!

新商品情報

クラフトジン かのしずく 「香の雫」700ml



クラフトジン「香の雫」に700mlサイズが新登場。
日本固有の香木「クロモジ」を主役に、光差し込む新緑の森をイメージして蒸留したドライタイプのクラフトジン「香の雫」。ジュニパーベリーや柑橘の瑞々しい香りと、重ねたスパイスが爽やかなクロモジの風味を際立たせます。

おすすめの飲み方

炭酸割り

香の雫 炭酸
1 : 3



香の雫の特徴である「香りの抜けのよさと瑞々しさ」をいちばん感じていただける飲み方です。

かじょう 家醸本みりん 360ml



家醸本みりんに360mlサイズが新登場。
創製当時から伝承されてきた養命酒の原酒造りの技術を活かして、仕込み・熟成に2か月をかけて造っています。米本来の旨味が料理の味わりに奥行きを与える、プロの料理人も使い続ける本格派のみりんです。

みりん活用レシピ

炊き込み ごはん

レシピは
こちらから▶



「家醸本みりん」の特長を実感するのなら、まずは炊き込みごはんがおすすめです。
具材ひとつひとつの旨味を引き立てながら、全体をやさしく包み込み、いつもとはひと味ちがう仕上がりに。



養命酒製造のサステナビリティ活動

当社は、サステナビリティ経営に取り組んでおり、5つの重要課題を設定しています。
各課題に関連する当社の取り組みをご紹介します。



健康 心身の健康の増進

メルマガ「養命酒元気通信」の発信

『養命酒元気通信』は、当社が月に一度送る健康に関するメルマガジンです。会員数は約30万人で、毎月異なる健康テーマを特集し、養命酒の製品情報、健康アドバイス、食事や生活習慣のヒントなど、多彩なコンテンツを提供し、生活者の健康を支えることを目指しています。

前年度は、「養命酒駒ヶ根工場潜入レポート」や「養命酒検定」といったテーマのコンテンツを配信し、多数の反響をいただきました。

- 元気通信への登録（無料）はこちら
<https://www.yomeishu.co.jp/genkigenki/>



環境 環境負荷の低減

太陽光発電の導入

2023年10月より、生産拠点である駒ヶ根工場における再生可能エネルギー利用の第一弾として、オンサイト太陽光発電システムPPAモデルを導入しました。発電能力は約150kWで、これにより駒ヶ根工場の年間使用電力量の約6%に該当する電力量を再生可能エネルギーに転換できる予定であり、年間約84tのCO₂排出量の削減を見込んでいます。今後も再生可能エネルギー利用を段階的に進め、Scope1,2のCO₂排出量について、「全社で2030年度に2013年度比50%削減」を目指します。



駒ヶ根工場に設置した太陽光パネル



地域社会 地域社会への貢献

雇用創出・観光客誘致による地域活性

くらすわ関連事業では、長野県を中心に物販や飲食等の店舗を5店舗展開しています。2024年秋にグランドオープン予定の「くらすわの森」では、コンテンツとして飲食店舗や物販店舗、森林散策施設等を建設中であり、これらによる雇用創出が見込まれます。

さらに、「くらすわの森」では2026年度に年間30万人の集客を計画しており、観光客の誘致による地域活性化も目指しています。



「くらすわの森」イメージ



人権・ダイバーシティ 多様な人材の活用

ワークライフバランスへの取組

当社は従業員が働きがいや充実感を感じながら、仕事上の責任を果たすとともに、さまざまなライフステージに対応できる働き方の構築を目指しています。そのため、育児をしながら働く社員については、仕事と家庭生活を両立し安心して働き続けられるよう、育児休業・産後パパ育休相談窓口

を設置し、制度への理解促進に努めております。

なお、2023年度に育休を取得した男性社員のうち、1か月以上取得した割合は100%でした。今後も、育児休業等を取得しやすい組織風土づくりに取り組んでいきます。



ガバナンス ガバナンスの強化

コンプライアンス研修の実施

当社では、役員員に対する行動基準の周知徹底を図るとともに、毎年、社員を対象としたコンプライアンス研修を年2回実施しています。直近では、組織不正の防止等に関する研修を実施しました。

今後も研修を通じてコンプライアンス意識の醸成と理解の促進を図ります。



コンプライアンス研修の様子

会社概要 (2024年6月27日現在)

社名	養命酒製造株式会社 YOMEISHU SEIZO CO., LTD.	事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
本店所在地	〒150-8563 東京都渋谷区南平台町16番25号 電話 03-3462-8111 FAX 03-3462-8340 URL https://www.yomeishu.co.jp/	従業員数	301名 (2024年3月31日現在)
事業所	大阪支店、駒ヶ根工場、 商品開発センター、商業施設くらすわ、 鶴ヶ島太陽光発電所、台北支店	取締役及び執行役員	
設立	大正12年(1923年)6月20日	代表取締役会長 CEO	川村 昌平
資本金	16億5,000万円	代表取締役社長 COO	田中 英雄
上場	東京証券取引所プライム市場	取締役常務執行役員	神林 敬
事業内容	養命酒、酒類及び医薬品等の製造・販売 飲食店及び売店の経営 不動産の賃貸 自然エネルギー等による発電事業及び 電気の供給、販売等に関する業務	取締役常務執行役員	斉藤 隆
		取締役上席執行役員	宮下 克彦
		取締役上席執行役員	清水 政明
		取締役 常勤監査等委員*	田中 昌之
		取締役 監査等委員*	須永 明美
		取締役 監査等委員*	佐藤 敦子
		上席執行役員	井川 明
		執行役員	福盛 禎仁
		執行役員	内藤 久嗣
		執行役員	田辺 章二
		執行役員	林 克彦

※ 社外取締役であります。

株式関係 (2024年3月31日現在)

○ 上位10名の株主

株主名	持株数(千株)
大正製薬ホールディングス株式会社	3,300
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	841
三菱UFJ信託銀行株式会社	675
株式会社八十二銀行	650
トアア再保険株式会社	548
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	276
株式会社三井住友銀行	264
キッコーマン株式会社	221
藤澤玄雄	220
株式会社十八親和銀行	211

(注) 当社は、自己株式を2,638千株所有しておりますが、
上記上位10名の株主からは除外しております。

株主メモ

証券コード 2540
単元の株式数 100株
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月中
同総会基準日 毎年3月31日
配当金受領株主確定日 毎年3月31日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711(通話料無料)
郵送先
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載方法 電子公告により行います。
公告掲載URL
<https://www.yomeishu.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株式に関する手続きについて

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、
買取請求その他各種手続き

証券会社の口座に当社株式が記録されている株主様
口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ります。

特別口座に当社株式が記録されている株主様

上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ願います。

未受領配当金のお支払い

三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

○ 株式の状況

発行可能株式総数 66,000,000株
発行済株式の総数 16,500,000株
株主数 16,515名

○ 所有者別株式分布状況

